

(別添)

ペントキサゾン 農薬蜜蜂影響評価書

2025年3月5日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

目 次

＜経緯＞	2
＜農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿＞	2
I. 評価対象農薬の概要	3
1. 有効成分の概要.....	3
2. 有効成分の物理的・化学的性状.....	3
3. 申請に係る情報.....	4
4. 作用機作.....	5
5. 適用病虫害の範囲及び使用方法（別添参照）	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要	10
1. ミツバチに対する安全性に係る試験.....	10
2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）	11
3. 花粉・花蜜残留試験.....	13
4. 蜂群への影響試験.....	13
III. 毒性指標	14
1. 毒性試験の結果概要.....	14
2. 毒性指標値.....	14
3. 毒性の強さから付される注意事項.....	14
IV. 暴露量の推計	14
V. 評価結果	14
評価資料	15
評価資料（公表文献）	15

<経緯>

令和 5 年 (2023年)	9 月 2 1 日	農業資材審議会への諮問
令和 6 年 (2024年)	1 2 月 2 4 日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会 (第15回)
令和 7 年 (2025年)	1 月 1 4 日	国民からの意見・情報の募集
	から 2 月 1 2 日	
令和 7 年 (2025年)	3 月 5 日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会 (第16回)

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿> (第 15 回、第 16 回)

(委員)	(臨時委員)	(専門委員)
五箇 公一	中村 純	永井 孝志
山本 幸洋		横井 智之

ペントキサゾン

I. 評価対象農薬の概要

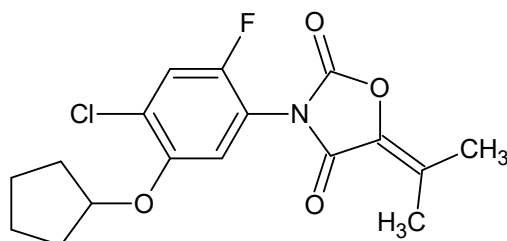
1. 有効成分の概要

- 1.1 申請者 科研製薬株式会社
- 1.2 登録名 ペントキサゾン
3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピリデン-1,3-オキサゾリジン-2,4-ジオン
- 1.3 一般名 pentoxazone (ISO 名)
- 1.4 化学名
IUPAC名 : 3-[4-chloro-5-(cyclopentyloxy)-2-fluorophenyl]-5-(propan-2-ylidene)-1,3-oxazolidine-2,4-dione
CAS名 : 3-[4-chloro-5-(cyclopentyloxy)-2-fluorophenyl]-5-(1-methylethylidene)-2,4-oxazolidinedione
(CAS No. 110956-75-7)
- 1.5 コード番号 KPP-314

1.6 分子式、構造式、分子量

分子式 $C_{17}H_{17}ClFNO_4$

構造式



分子量 353.78

2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果
色調・形状	99.9	目視	白色・固体(粉末)
臭気	99.9	官能法	無臭
融点	99.9	OECD 102	104.4 °C
沸点	99.9	OECD 103	測定不能 (230 °C以上で分解)
密度	99.9	OECD109	1.418 g/cm ³ (25 °C)
蒸気圧	99.9	OECD 104	<1.11 × 10 ⁻⁵ Pa (25 °C)

試験項目		純度 (%)	試験方法	試験結果									
熱安定性		97.2	DSC法	220 ℃以上で分解									
溶解度	水		99.9	OECD 105	0.216 mg/L (25 ℃)								
	有機溶媒	ヘキサン	99.9	OECD 105	5.10 g/L (25 ℃)								
		ジクロロメタン			>100 g/L (25 ℃)								
		アセトン			>100 g/L (25 ℃)								
		メタノール			24.8 g/L (25 ℃)								
		酢酸エチル			>100 g/L (25 ℃)								
		アセトニトリル			>100 g/L (25 ℃)								
	解離定数 (pKa)		99.9	OECD 112	酸性~中性域で解離しない								
1-オクタノール／水分配係数 (log Pow)		99.9	OECD 107	4.66 (25℃)									
加水分解性		>98	OECD 111	半減期 35.5 日 (25 ℃、pH 4.0) 半減期 22.3 日 (25 ℃、pH 5.0) 半減期 4.75 日 (25 ℃、pH 7.0) 半減期 1.91 時間 (25 ℃、pH 9.0)									
水中光分解性		>98	59農蚕第4200号	半減期16.2日(pH 5.0、25 ℃、142 W/m ² 、290~800 nm)									
紫外吸収 (UV) スペクトル		99.9	<table><tr><td>極大吸収波長 (nm)</td><td>吸光度</td><td>モル吸光係数 (L mol⁻¹ cm⁻¹)</td></tr><tr><td>247</td><td>0.528</td><td>23000</td></tr><tr><td>289</td><td>0.155</td><td>6740</td></tr></table>		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)	247	0.528	23000	289	0.155	6740
極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)											
247	0.528	23000											
289	0.155	6740											
試験項目			試験方法	試験結果									
土壌吸着係数			OECD 106	算出不可									
土壌残留性			59農蚕第4200号	粒剤(1回散布)、水田土壌(2種類)：半減期 5~23.3日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)									
				粒剤(2回散布)、水田土壌(2種類)：半減期 10~40.2日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)									

3. 申請に係る情報

ペントキサゾン は、2024 年 11 月現在、韓国、中国及びトルコの 3 か国で水稲用除草剤として登録されている。

4. 作用機作

ペントキサゾン是非ホルモン接触型・光要求性のオキサゾリジン環を有するオキサゾリジンジオン系除草剤であり、その殺草作用は細胞構成成分の光酸化的破壊に基づくものと考えられている。

(HRAC 分類：14[※])

※参照：<https://www.hracglobal.com/>

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法 (90 製剤、別添参照)

- ・ベクサーフロアブル及びベアスフロアブル
(ペントキサゾン 2.9 %水和剤)
- ・ベクサー 1 キロ粒剤及びベアス 1 キロ粒剤
(ペントキサゾン 1.5 %粒剤)
- ・テマカットフロアブル及びSDSテマカットフロアブル
(ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)
- ・日産草笛フロアブル、草笛フロアブル及び協友草笛フロアブル
(クミルロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)
- ・科研草笛ジャンボ、草笛ジャンボ及び協友草笛ジャンボ
(クミルロン 15.0 %・ペントキサゾン 4.5 %剤)
- ・ユートピア粒剤 1 5
(シクロスルフアムロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)
- ・ショキニーフロアブル
(ブロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)
- ・ユートピア 1 キロ粒剤
(シクロスルフアムロン 0.60 %・ペントキサゾン 4.5 %粒剤)
- ・トップガンフロアブル
(ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)
- ・トップガンLフロアブル
(ピリミノバックメチル 0.56 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 0.93 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)
- ・フォーカスショットジャンボ、及び科研フォーカスショットジャンボ
(ベンゾビシクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)
- ・クミアイサキドリEW、シンウチEW及びイネゼットEW
(ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)
- ・ショキニー 2 5 0 グラム
(ブロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)
- ・トップガン 2 5 0 グラム
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・SDSダッシュワンフロアブル及びホクコーダッシュワンフロアブル
(ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)
- ・トップガンL 2 5 0 グラム
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

- ・プレッサフロアブル及びS D Sプレッサフロアブル
(ベンゾビスクロン 3.9 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)
- ・トップガンG T 1 キロ粒剤 7 5
(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・トップガンG T 1 キロ粒剤 5 1
(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロロンメチル 0.51 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・トップガンジャンボ
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・トップガンL ジャンボ
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・クマイサキドリ 1 キロ粒剤及びシンウチ 1 キロ粒剤
(ブタクロール 5.0 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)
- ・ヨシキタ 1 キロ粒剤
(イマゾスルフロロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)
- ・ヨシキタフロアブル
(イマゾスルフロロン 1.7 %・ブロモブチド 16.3 %・ペントキサゾン 7.0 %水和剤)
- ・ヨシキタジャンボ
(イマゾスルフロロン 2.25 %・ブロモブチド 22.5 %・ペントキサゾン 9.75 %粒剤)
- ・サインヨシフロアブル
(ペントキサゾン 8.6 %水和剤)
- ・M I Cスウィープフロアブル
(ピラゾレート 20.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)
- ・クリアホープフロアブル及び兼商クリアホープフロアブル
(ペントキサゾン 4.0 %・A C N18.0 %水和剤)
- ・半蔵 1 キロ粒剤
(シクロスルファミロン 0.50 %・ベンゾビスクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)
- ・ホクコーメテオ 1 キロ粒剤
(ペントキサゾン 2.5 %粒剤)
- ・ホクコーメテオフロアブル
(ペントキサゾン 5.0 %水和剤)
- ・イネヒーロー 1 キロ粒剤及び日産イネヒーロー 1 キロ粒剤
(ダイムロン 10.0 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロロン 1.0 %粒剤)
- ・イネヒーロージャンボ及び日産イネヒーロージャンボ
(ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロロン 2.5 %粒剤)

- ・ゲキテツ 1 キロ粒剤
(ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンチオカーブ 21.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)
- ・テマエース 1 キロ粒剤
(イマゾスルフロン 0.90 %・ダイムロン 15.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)
- ・テマエースフロアブル
(イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)
- ・ゼータタイガーフロアブル、ドラゴンホーク Z フロアブル及びニマイメ Z フロアブル
(プロピリスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和剤)
- ・ゼータハンマー 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータタイガー 1 キロ粒剤、ドラゴンホーク Z 1 キロ粒剤、及びニマイメ Z 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータタイガージャンボ、ドラゴンホーク Z ジャンボ、及びニマイメ Z ジャンボ
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)
- ・イネヒーローフロアブル
(ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)
- ・ホクコーメテオジャンボ
(ペントキサゾン 8.3 %粒剤)
- ・イネショット 1 キロ粒剤
(ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータハンマーフロアブル
(プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)
- ・ゼータハンマージャンボ
(プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)
- ・SDS イザナギフロアブル及びイザナギフロアブル
(トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)
- ・ゼータタイガー 300 FG 及びドラゴンホーク Z 300 FG
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)
- ・SDS イザナギ 1 キロ粒剤及びイザナギ 1 キロ粒剤
(トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)
- ・ショキニー 1 キロ粒剤
(ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・トップガン R 1 キロ粒剤
(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

- ・トップガンR豆つぶ250
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンのメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・トップガンRジャンボ
(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンのメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・トップガンRフロアブル
(ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンのメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)
- ・ゼータジャガーフロアブル
(フェンキノトリオン 5.7 %・プロピリスルフロンの 1.7 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)
- ・ゼータジャガー1キロ粒剤
(フェンキノトリオン 3.0 %・プロピリスルフロンの 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータジャガージャンボ
(フェンキノトリオン 15.0 %・プロピリスルフロンの 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)
- ・流星フロアブル
(フェンキノトリオン 6.0 %・ペントキサゾン 5.0 %・メタゾスルフロンの 2.0 %水和剤)
- ・流星1キロ粒剤
(フェンキノトリオン 3.0 %・ペントキサゾン 2.5 %・メタゾスルフロンの 1.0 %粒剤)
- ・流星ジャンボ
(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロンの 2.5 %粒剤)
- ・流星エアージェル粒剤
(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロンの 2.5 %粒剤)
- ・SDSイザナギジャンボSD及びイザナギジャンボSD
(トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)
- ・SDSイザナギ200SD粒剤及びイザナギ200SD粒剤
(トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)
- ・イネヒーローエアージェル粒剤
(ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロンの 2.5 %粒剤)
- ・イネブレイブ1キロ粒剤
(ジメタメトリン 0.6 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロンの 0.8 %粒剤)

Ⅱ. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要

1. ミツバチに対する安全性に係る試験

ペントキサゾンのミツバチに対する安全性に係る試験を表1に示す。

表1：ミツバチに対する安全性に係る試験

試験の種類	評価段階	試験数	公表文献数*
成虫単回接触毒性試験	第1段階	1	0
成虫単回経口毒性試験		1	0
成虫反復経口毒性試験		0	0
幼虫経口毒性試験		0	0
花粉・花蜜残留試験		0	
蜂群への影響試験	第2段階	0	

*（参考）公表文献の検索結果

（生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野）

データベース名： Web of Science (Core Collection)及びJ-STAGE

検索対象期間： 2006年1月1日から2021年12月31日



※公表文献に関する情報募集(令和5年11月1日~11月30日)で寄せられた情報はない。

2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）

2.1 成虫単回接触毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回接触毒性試験が実施され、48 h LD₅₀ は >98.7 µg ai/bee であった。

表 2：単回接触毒性試験結果（資料 1、1995 年）

被験物質	原体				
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 5反復、20頭/区				
準拠ガイドライン	記載なし				
試験期間	96 h				
投与溶媒(投与液量)	アセトン(10 µL)				
暴露量 (実測値に基づく有効成分換算値) (µg ai /bee)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	0.987	9.87	98.7
死亡数/供試生物数 (48 h)	3/100 (3.0 %)	1/100 (1.0 %)	5/100	1/100	1/100
観察された行動異常	なし				
LD ₅₀ (µg ai /bee) (48 h)	>98.7				

2.2 成虫経口毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた経口毒性試験が実施され、48 h LDD₅₀ は >36.7 µg ai/bee/day であった。

本試験は暴露方法が連続暴露であり、OECD テストガイドラインで示された要件（単回投与）を満たしていないことから参考資料とした。

表 3：経口毒性試験結果（資料 1、1995 年）

被験物質	原体				
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 5反復、20頭/区				
準拠ガイドライン	記載なし				
試験期間	96 h				
投与溶液(投与液量)	50 %ショ糖溶液(連続暴露)				
助剤(濃度%)	アセトン(濃度記載なし)				
暴露量 (実測値に基づく有効成分換算値) (µg ai/bee/day)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	9.17	18.3	36.7
死亡数/供試生物数 (48 h)	1/100 (1.0 %)	2/100 (2.0 %)	2/100	4/100	3/100
観察された行動異常	なし				
LDD ₅₀ (µg ai/bee/day) (48 h)	>36.7				

2.3 成虫反復経口毒性試験

該当なし

2.4 幼虫経口毒性試験

該当なし

3. 花粉・花蜜残留試験

該当なし

4. 蜂群への影響試験

該当なし

Ⅲ. 毒性指標

1. 毒性試験の結果概要

毒性試験の結果概要を表 4 に示す。

表 4：各試験の毒性値一覧

毒性試験	毒性値	
	エントポイント	試験1
成虫単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	>98.7
成虫単回経口毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	—*

*OECD テストガイドラインで示された要件（単回投与）を満たしていないことから参考資料とした。

2. 毒性指標値

ペントキサゾンの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標値は以下のとおりとした（表 5）。

(1) 成虫単回接触毒性

48h LD₅₀ 値 (>98.7 μg ai/bee) を採用し、毒性指標値を 98 μg ai/bee とした。

表 5：ペントキサゾンのミツバチへの影響評価に用いる毒性指標値

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値(単位)	
成虫	単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	98

3. 毒性の強さから付される注意事項

成虫単回接触毒性の LD₅₀ が 11 μg/bee 以上であったため、注意事項は要しない。

Ⅳ. 暴露量の推計

本剤は、昆虫成長制御剤に該当せず、成虫の急性接触毒性（単回接触毒性試験の LD₅₀ 値）が 11 μg/bee 以上であることから、1 巡目の再評価において、リスク評価を行う対象とはしない。そのため、暴露量の推計は行わない。

Ⅴ. 評価結果

ペントキサゾンは、申請された使用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

評価資料

資料 番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	1995	KPP-314 原体のミツバチに対する急性毒性試験 科研製薬株式会社、試験番号 KPP-314/ATG/NTE/02 非公表	科研製薬(株)
2	2022 (2023修正)	農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査報告書 有効成分名：ペントキサゾン 公表	科研製薬(株)

評価資料（公表文献）

該当なし

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（ペントキサゾン）

目 次

1. 登録番号 19845：ベクサーフロアブル、 登録番号 22865：ベアスフロアブル (ペントキサゾン 2.9 %水和剤)	6
2. 登録番号 19847：ベクサー 1 キロ粒剤、 登録番号 22866：ベアス 1 キロ粒剤 (ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	6
3. 登録番号 19848：テマカットフロアブル、 登録番号 19849：S D S テマカットフロアブル (ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)	7
4. 登録番号 19853：日産草笛フロアブル、 登録番号 21116：草笛フロアブル、 登録番号 21621：協友草笛フロアブル (クミルロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)	8
5. 登録番号 19854：科研草笛ジャンボ、 登録番号 21115：草笛ジャンボ、 登録番号 21620：協友草笛ジャンボ (クミルロン 15.0 %・ペントキサゾン 4.5 %剤)	9
6. 登録番号 19869：ユートピア粒剤 1 5 (シクロスルファムロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	10
7. 登録番号 19872：ショキニーフロアブル (プロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)	10
8. 登録番号 20156：ユートピア 1 キロ粒剤 (シクロスルファムロン 0.60 %・ペントキサゾン 4.5 %粒剤)	11
9. 登録番号 20491：トップガンフロアブル (ピリミノバックメチル 0.83 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサ ゾン 2.8 %水和剤)	12
1 0. 登録番号 20493：トップガン L フロアブル (ピリミノバックメチル 0.56 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 0.93 %・ペント キサゾン 2.8 %水和剤)	13
1 1. 登録番号 20634：フォーカスショットジャンボ、 登録番号 21105：科研フォーカスショットジャンボ (ベンゾビシクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)	14

1 2. 登録番号 20822 : クミアイサキドリ EW、 登録番号 22742 : シンウチ EW、 登録番号 23099 : イネゼット EW (ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)	14
1 3. 登録番号 20993 : ショキニー 2 5 0 グラム (ブロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)	15
1 4. 登録番号 21155 : トップガン 2 5 0 グラム (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサ ゾン 8.0 %剤)	15
1 5. 登録番号 21165 : SDS ダッシュワンフロアブル、 登録番号 21166 : ホクコーダッシュワンフロアブル (ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)	16
1 6. 登録番号 21167 : トップガン L 2 5 0 グラム (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサ ゾン 8.0 %剤)	17
1 7. 登録番号 21208 : プレッサフロアブル、 登録番号 21209 : SDS プレッサフロアブル (ベンゾビシクロン 3.9 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)	18
1 8. 登録番号 21375 : トップガン GT 1 キロ粒剤 7 5 (ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキ サゾン 2.0 %粒剤)	19
1 9. 登録番号 21378 : トップガン GT 1 キロ粒剤 5 1 (ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.51 %・ペントキ サゾン 2.0 %粒剤)	20
2 0. 登録番号 21381 : トップガンジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサ ゾン 8.0 %剤)	21
2 1. 登録番号 21384 : トップガン L ジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサ ゾン 8.0 %剤)	22
2 2. 登録番号 21403 : クミアイサキドリ 1 キロ粒剤、 登録番号 22743 : シンウチ 1 キロ粒剤 (ブタクロール 5.0 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	23
2 3. 登録番号 21829 : ヨシキタ 1 キロ粒剤 (イマゾスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	24
2 4. 登録番号 21831 : ヨシキタフロアブル (イマゾスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.3 %・ペントキサゾン 7.0 %水和剤)	25

25. 登録番号 22309 : ヨシキタジャンボ (イマゾスルフロン 2.25 %・ブロモブチド 22.5 %・ペントキサゾン 9.75 %粒剤)	26
26. 登録番号 22322 : サインヨシフロアブル (ペントキサゾン 8.6 %水和剤)	26
27. 登録番号 22420 : M I C スウィープフロアブル (ピラゾレート 20.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)	27
28. 登録番号 22655 : クリアホープフロアブル、 登録番号 22656 : 兼商クリアホープフロアブル (ペントキサゾン 4.0 %・ACN18.0 %水和剤)	27
29. 登録番号 22846 : 半蔵 1 キロ粒剤 (シクロスルファムロン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	28
30. 登録番号 23008 : ホクコーメテオ 1 キロ粒剤 (ペントキサゾン 2.5 %粒剤)	28
31. 登録番号 23009 : ホクコーメテオフロアブル (ペントキサゾン 5.0 %水和剤)	29
32. 登録番号 23225 : イネヒーロー 1 キロ粒剤、 登録番号 23226 : 日産イネヒーロー 1 キロ粒剤 (ダイムロン 10.0 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)	30
33. 登録番号 23525 : イネヒーロージャンボ、 登録番号 23526 : 日産イネヒーロージャンボ (ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	31
34. 登録番号 23572 : ゲキテツ 1 キロ粒剤 (ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンチオカーブ 21.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)	32
35. 登録番号 23582 : テマエース 1 キロ粒剤 (イマゾスルフロン 0.90 %・ダイムロン 15.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	32
36. 登録番号 23583 : テマエースフロアブル (イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)	33
37. 登録番号 23735 : ゼータタイガーフロアブル、 登録番号 23873 : ドラゴンホーク Z フロアブル、 登録番号 24244 : ニマイメ Z フロアブル (プロピリスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和剤)	34
38. 登録番号 23747 : ゼータハンマー 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	35
39. 登録番号 23748 : ゼータタイガー 1 キロ粒剤、 登録番号 23875 : ドラゴンホーク Z 1 キロ粒剤、 登録番号 24245 : ニマイメ Z 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	36

4 0.	登録番号 23749 : ゼータタイガージャンボ、 登録番号 23877 : ドラゴンホーク Z ジャンボ、 登録番号 24246 : ニマイメ Z ジャンボ (プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)	37
4 1.	登録番号 23753 : イネヒーローフロアブル (ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)	38
4 2.	登録番号 23822 : ホクコーメテオジャンボ (ペントキサゾン 8.3 %粒剤)	39
4 3.	登録番号 23837 : イネショット 1 キロ粒剤 (ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	39
4 4.	登録番号 23878 : ゼータハンマーフロアブル (プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)	40
4 5.	登録番号 23879 : ゼータハンマージャンボ (プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)	41
4 6.	登録番号 23995 : S D S イザナギフロアブル、 登録番号 23996 : イザナギフロアブル (トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)	42
4 7.	登録番号 24228 : ゼータタイガー 3 0 0 F G、 登録番号 24229 : ドラゴンホーク Z 3 0 0 F G (プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)	43
4 8.	登録番号 24336 : S D S イザナギ 1 キロ粒剤、 登録番号 24337 : イザナギ 1 キロ粒剤 (トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)	44
4 9.	登録番号 24357 : ショキニー 1 キロ粒剤 (ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	44
5 0.	登録番号 24376 : トップガン R 1 キロ粒剤 (ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	45
5 1.	登録番号 24377 : トップガン R 豆つぶ 2 5 0 (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	46
5 2.	登録番号 24378 : トップガン R ジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	47
5 3.	登録番号 24379 : トップガン R フロアブル (ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)	48

5 4. 登録番号 24469 : ゼータジャガーフロアブル (フェンキノトリオン 5.7 %・プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)	49
5 5. 登録番号 24470 : ゼータジャガー 1 キロ粒剤 (フェンキノトリオン 3.0 %・プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	50
5 6. 登録番号 24471 : ゼータジャガージャンボ (フェンキノトリオン 15.0 %・プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)	51
5 7. 登録番号 24477 : 流星フロアブル (フェンキノトリオン 6.0 %・ペントキサゾン 5.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %水和剤)	52
5 8. 登録番号 24478 : 流星 1 キロ粒剤 (フェンキノトリオン 3.0 %・ペントキサゾン 2.5 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)	53
5 9. 登録番号 24479 : 流星ジャンボ (フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	54
6 0. 登録番号 24480 : 流星エアー粒剤 (フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	55
6 1. 登録番号 24610 : S D S イザナギジャンボ S D、 登録番号 24611 : イザナギジャンボ S D (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	55
6 2. 登録番号 24612 : S D S イザナギ 2 0 0 S D 粒剤、 登録番号 24613 : イザナギ 2 0 0 S D 粒剤 (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	56
6 3. 登録番号 24630 : イネヒーローエアー粒剤 (ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	56
6 4. 登録番号 ー※ : イネブレイブ 1 キロ粒剤 (ジメタメトリン 0.6 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 0.8 %粒剤)	57

※新規登録申請中

1. 登録番号 19845 : ベクサーフロアブル、
登録番号 22865 : ベアスフロアブル
(ペントキサゾン 2.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバユ	移植時	500 mL/10 a	2 回 以内	田植同時 散布機で 施用	2 回以内
ひえ(水田 移植栽培)		植代後~移植前 7 日 または 移植直後~ H_2O 発生始期 ただし、移植後 30 日まで			原液湛水 散布又は 水口施用	
いぐさ	一年生雑草	植付後生育期 (雑草発生前)		3 回 以内	原液湛水 散布	3 回 以内

2. 登録番号 19847 : ベクサー 1 キロ粒剤、
登録番号 22866 : ベアス 1 キロ粒剤
(ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバユ	移植時	1 kg/10 a	2 回 以内	田植同時散 布機で施用	2 回以内
		植代後~移植前 7 日 または 移植直後~ H_2O 発生始期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布	
いぐさ	一年生雑草	植付後~生育期 (雑草発生前)		3 回 以内		3 回 以内

3. 登録番号 19848 : テマカットフロアブル、
登録番号 19849 : S D S テマカットフロアブル
(ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クロクワイ(北海道を除く) コウキカ ^ラ (東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後～移植前 7 日 または 移植直後～ ル ^ビ エ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土～ 埴土	500 mL/10 a	1 回	原液湛水 散布又は 水口施用	全域	3 回 以内 (育苗 箱散布 は 1 回 以内、 本田で は 2 回 以内)	2 回 以内
		移植時				田植同時 散布機で 施用			
		植代時 (移植 7 日前 まで)				植代時に 原液のま ま散布し 混和する	全域(北 海道を 除く)の 普通期 栽培地 帯及び 関東・東 山・東 海、九 州の早 期栽培 地帯		
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の 代かき時 (は種 7 日 前まで)	壤土～ 埴土	300 mL/10 a		代かき時 に原液の まま散布 し混和す る	全域 (北海道 を除く)	2 回以 内	
		湛水直播の 代かき後～ は種前 7 日				原液湛水 散布			

4. 登録番号 19853 : 日産草笛フロアブル、
登録番号 21116 : 草笛フロアブル、
登録番号 21621 : 協友草笛フロアブル
(クミロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用 回数	使用方法	クミロンを 含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の 総使用回数
移 植 水 稻	水田一年生雑草 マツバ ^イ ホタル ^イ ミス ^カ ヤツリ ヘラオモタ ^カ	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	2 回以内	2 回以内
		植代時(移植前 7 日まで)			植代時に 原液のまま 散布し混和 する。		
		植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ ルビ ^エ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液 湛水散布		
	水田一年生雑草 マツバ ^イ ホタル ^イ ミス ^カ ヤツリ コウキヤ ^カ ラ クロク ^{ワイ} シズ ^イ	移植時	300 mL/10 a (少量散布)		田植同時散布機で施用		
		植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ ルビ ^エ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液 湛水散布		

5. 登録番号 19854 : 科研草笛ジャンボ、
登録番号 21115 : 草笛ジャンボ、
登録番号 21620 : 協友草笛ジャンボ
(クミルロン 15.0 % ・ ペントキサゾン 4.5 % 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クミルロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ	植代後~移植前 7 日 又は移植直後~ ルビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで	20 個 (1 kg)/10 a	1 回	水田に 投げ入 れる。	2 回以内	2 回以内
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ クロクワイ コウキカハラ		10 個 (500 g)/10 a				
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ	植代後~移植前 7 日 又は移植直後~ ルビエ発生始期 但し、移植後 30 日まで	5 個 (250 g)/10 a				

6. 登録番号 19869 : ユートピア粒剤 15

(シクロスルファミロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	シクロスルファミロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	3 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	2 回以内	2 回以内
		移植直後～ ルビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで			湛水散布		

7. 登録番号 19872 : ショキニーフロアブル

(プロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ クロゲワイ	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	2 回以内	2 回以内
		移植直後～ ルビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液湛水散布又は水口施用		
	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ		300 mL/10 a (少量散布)		原液 湛水散布		

8. 登録番号 20156 : ユートピア 1 キロ粒剤

(シクロスルフアムロン 0.60 % ・ ペントキサゾン 4.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道) クログワイ(北海道、北陸を除く) オモダカ ヒルムシロ(北陸を除く) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壤土~埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	北海道
			壤土~埴土				東北 北陸
			砂壤土~埴土				関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯
			壤土~埴土				近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯
		移植直後~ ルビエ1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土~埴土			湛水散布	北海道
			壤土~埴土				東北 北陸
			砂壤土~埴土				関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯
			壤土~埴土				近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯
		移植後 3 日~ ルビエ1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	砂壤土				

シクロスルフアムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内

9. 登録番号 20491 : トップガンフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.83 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(東北) ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ クログワイ(東北) オモダカ(東北) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ヒエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	500 mL/10 a	1 回	原液 湛水散布	北海道
		移植直後～ヒエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで					東北
		移植時				田植同時 散布機で 施用	
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ	稲 1.5 葉期～ヒエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで	壤土～ 埴土			原液 湛水散布	北海道、 東北

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

10. 登録番号 20493：トップガンLフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.56 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 0.93 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ オモダカ（北陸を除く） クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ヒエ3葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壤土～埴土	500 mL/10 a	1 回	原液 湛水散布	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地域
		移植時				田植同時 散布機で施用	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ3葉期 但し、収穫 90 日前まで	壤土～埴土			原液 湛水散布	全域(北海道、東北を除く)
		稲 1.5 葉期～ヒエ3葉期 但し、収穫 90 日前まで	砂壤土				

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

1 1. 登録番号 20634 : フォーカスショットジャンボ、
登録番号 21105 : 科研フォーカスショットジャンボ
(ベンゾビスクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンゾビスクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ウリカリ ヒルムシロ クログワイ シズイ コウキヤカラ	移植直後～ ルビエ1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個 (500 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる	3 回以内	2 回以内

1 2. 登録番号 20822 : クミアイサキドリ EW、
登録番号 22742 : シンウチ EW、
登録番号 23099 : イネゼット EW
(ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ クログワイ コウキヤカラ	植代後～移植前 7 日 または移植直後～ ルビエ1 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時散布機で 施用		
		植代時(移植 7 日前 まで)			植代時に原液のまま 散布し混和する		
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種 7 日前まで)	300 mL/10 a		代かき時に 原液のまま 散布し混和する		
		湛水直播の 代かき後～ は種前 7 日			原液湛水散布		

1 3. 登録番号 20993 : ショキニー 2 5 0 グラム

(ブロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ	移植直後～ ルビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで	250 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機に よる散布	2 回以内	2 回以内

1 4. 登録番号 21155 : トップガン 2 5 0 グラム

(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(東北) ヘラオモダカ オモダカ(東北) クログワイ(東北) シスイ(東北) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで	砂壤土 ～ 埴土	250 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水 周縁散布または 無人ヘリコプターに よる散布	北海道
		移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで					東北
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 収穫 90 日前まで					北海道、 東北

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

15. 登録番号 21165 : SDSダッシュワンフロアブル、
登録番号 21166 : ホクコーダッシュワンフロアブル
(ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツハ・イ ホタルイ ミス・カ・ヤツリ ヘラオモダ・カ クロク・ワイ	植代時(移植 7 日前まで)	500 mL/10 a	1 回	植代時に原液のまま散布し混和する	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内
		移植時			田植同時散布機で施用		
		植代後~移植前 7 日又は移植直後~ ルビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液湛水散布		

16. 登録番号 21167：トップガンL 250 グラム

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ オモダカ クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ヒエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	250 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布または無人ヘリコプターによる散布	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地帯
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで					全域(北海道、東北を除く)

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

17. 登録番号 21208 : プレッサフロアブル、
登録番号 21209 : SDS プレッサフロアブル
(ベンゾビシクロン 3.9 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稻	一年生雑草 及び マツバ イ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ウリカ クログワイ シズイ ヒルムシロ コウキヤガラ	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	3 回以内	2 回以内
		移植直後~ /ビエ1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水 散布		

18. 登録番号 21375 : トップガンGT1キログラム75

(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(東北) ヘラオモダカ オモダカ(東北) クログリイ(東北) シズイ(東北) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壤土 ～ 埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	北海道 東北
		移植直後～ ルビエ3 葉期 但し、移植後 30 日まで				湛水散布	
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲1 葉期～ ルビエ3 葉期 但し、収穫 90 日前まで					

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

19. 登録番号 21378 : トップガンGT1キログラム51

(ピリミノバックメチル 0.45 %・プロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.51 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシ セリ オモダカ クログワイ ヨウキヤガラ(関東・東山・東海) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壤土 ～ 埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地域
		移植直後～ノビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで				湛水散布	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ セリ	稲 1 葉期～ノビエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで					全域(北海道、東北を除く)

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

20. 登録番号 21381：トップガンジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水 稲	水田一年生雑草 マツバ イ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ(東北) ヘラオモダカ ヒルムシ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	北海道 東北

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

2 1. 登録番号 21384 : トップガンLジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル
2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物 名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用方 法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバ イ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ(近畿・中 国・四国を除く) セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離 (近畿・中国・四 国、九州)	移植後 3 日～ ノビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入 れる。	全域(北海 道、東北を 除く)の普 通期及び早 期栽培地帯
直播 水稻	水田一年生雑草 マツバ イ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ノビ エ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで					全域(北海 道、東北を 除く)

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

22. 登録番号 21403 : クミアイサキドリ 1 キロ粒剤、
登録番号 22743 : シンウチ 1 キロ粒剤
(ブタクロール 5.0 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ クログワイ コウキカハラ	植代後~移植前 7 日 または移植直後~ ルビエ 1 葉期 ただし、移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時 散布機で 施用		

23. 登録番号 21829 : ヨシキタ 1 キロ粒剤

(イマゾスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、東北) シズイ(東北) クログライ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) オモダカ(東北、関東・東山・東海) コウキヤカラ(関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離(近畿・中国・四国を除く)	移植時	砂壤土～ 埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用	全域の普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ ルビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで				湛水散布	

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

24. 登録番号 21831 : ヨシキタフロアブル

(イマゾスルフロン 1.7 % ・ ブロモブチド 16.3 % ・ ペントキサゾン 7.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、東北) クログワイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州)	移植時	砂壤土～埴土	500 mL/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	全域の普通期及び 早期栽培地帯
	オモダカ(東北、関東・東山・東海) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) ヒルムシロ セリ アオミドリ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				原液湛水 散布	

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

25. 登録番号 22309 : ヨシキタジャンボ

(イマゾスルフロン 2.25 %・ブロモブチド 22.5 %・ペントキサゾン 9.75 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(東北) ミスガヤツリ ウリカワ クログワイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国) オモダカ(東北、関東・東山・東海) コウキカガラ(関東・東山・東海、近畿・中国・四国) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離(東北)	移植直後 ～ヒエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30日まで	砂壤土 ～埴土	小包装(パック) 10 個 (400 g)/10 a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	全域(北海道、九州を除く)の普通期及び早期栽培地帯

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

26. 登録番号 22322 : サインヨシフロアブル

(ペントキサゾン 8.6 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ クログワイ コウキカガラ	植代時 (移植 7 日前まで)	500 mL/10 a	2 回 以内	植代時に原液のまま 散布し混和する	2 回以内
		植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ヒエ 1 葉期ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水散布	
		移植時			田植同時散布機で施用	
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	移植直後～ヒエ 1 葉期ただし、 移植後 30 日まで	300 mL/10 a		原液湛水散布	

27. 登録番号 22420 : M I C スウィープフロアブル

(ピラゾレート 20.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラゾレートを 含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の 総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカ クログライ オモダカ	植代後~移植前 7 日又は 移植直後~ ルビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水 散布又は 無人ヘリコプター による滴下	2 回以内	2 回以内

28. 登録番号 22655 : クリアホープフロアブル、

登録番号 22656 : 兼商クリアホープフロアブル

(ペントキサゾン 4.0 %・ACN18.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾン を含む農薬の 総使用回数	ACN を含む 農薬の 総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	植代後~移植前 7 日 又は移植直後~ ルビエ 1 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水 散布又は 水口施用	2 回以内	3 回以内
		移植時			田植同時散 布機で施用		

29. 登録番号 22846：半蔵 1 キロ粒剤

(シクロスルファミロン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオイトモ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ヒエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲 1 葉期～ヒエ 1.5 葉期ただし、 収穫 90 日前まで			

シクロスルファミロンを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

30. 登録番号 23008：ホクコーメテオ 1 キロ粒剤

(ペントキサゾン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クログライ	移植時	1 kg/10 a	2 回 以内	田植同時散 布機で施用	2 回以内
		植代後～移植前 7 日又は 移植直後～ヒエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			湛水散布	

3 1. 登録番号 23009 : ホクコーメテオフロアブル
(ペントキサゾン 5.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クログライ	移植時	500 mL/10 a	2 回 以内	田植同時 散布機で施用	2 回以内
		植代後~移植前 7 日 又は移植直後~ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液湛水散布 又は水口施用	

3 2. 登録番号 23225 : イネヒーロー 1 キロ粒剤、

登録番号 23226 : 日産イネヒーロー 1 キロ粒剤

(ダイムロン 10.0 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ クログライ オモダカ シズイ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ ユウキカガラ	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回 以内	2 回 以内
	移植直後～ ルビエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				湛水散布 又は無人 航空機による散布			
直播水稻	水田一年生雑草及びマツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1.5 葉期～ ルビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前 まで				2 回以内		

3 3. 登録番号 23525 : イネヒーロージャンボ、
登録番号 23526 : 日産イネヒーロージャンボ
(ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	水田一年生雑草 及びマツバ イ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカリ クログワイ オモダカ シズイ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ルビエ3葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(400 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。

ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回以内	2 回以内

3 4. 登録番号 23572 : ゲキテツ 1 キロ粒剤

(ピラゾスルフロンエチル 0.30 % ・ ベンチオカーブ 21.0 % ・ ペントキサゾン 4.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(東北) ヒルムシロ セリ	移植直後 ～ヒエ 2 葉期 但し、 移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	1 kg /10 a	1 回	湛水 散布	東北
			埴土～ 埴土				北陸、関東・東山・東海の普通期及び 早期栽培地帯、近畿・中国・四国、九州 の普通期栽培地帯
		移植時	砂壤土 ～埴土			田植同時 散布機で 施用	東北
			埴土～ 埴土				北陸、関東・東山・東海の普通期及び 早期栽培地帯、近畿・中国・四国、九州 の普通期栽培地帯

ピラゾスルフロンエチルを含む 農薬の総使用回数	ベンチオカーブを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
1回	1回	2回以内

3 5. 登録番号 23582 : テマエース 1 キロ粒剤

(イマゾスルフロン 0.90 % ・ ダイムロン 15.0 % ・ ペントキサゾン 3.9 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(北海道、東北、北陸) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	砂壤土 ～埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期及び早 期栽培地帯
		移植直後～ ヒエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				湛水散布	

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	3回以内(育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内

36. 登録番号 23583 : テマエースフロアブル

(イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラモダカ(北海道、東北、北陸) ヒルムシロ クログワイ(東北、関東・東山・東海) オモダカ(東北、関東・東山・東海) シズイ(東北) セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壤土 ～埴土	500 mL/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期及び早期栽培地帯
		移植直後～ ルビエ1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				原液湛水 散布又は 水口施用	

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内

37. 登録番号 23735 : ゼータタイガーフロアブル、
登録番号 23873 : ドラゴンホーク Zフロアブル、
登録番号 24244 : ニマイメ Zフロアブル
(プロピリスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和
剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ エゾノサヤスカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後 3 日～ヒエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布、水口施用又は 無人航空機による滴下
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機 による滴下

プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

38. 登録番号 23747：ゼータハンマー 1 キロ粒剤

(プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ オモダカ クロクワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で 施用	2 回以内	2 回以内
		移植直後～ ルビエ 3 葉期 ただし、移植 後 30 日まで			湛水散布 又は無人 航空機に よる散布		
直播 水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ ルビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は無人 航空機に よる散布		

39. 登録番号 23748 : ゼータタイガー 1 キロ粒剤、
登録番号 23875 : ドラゴンホーク Z 1 キロ粒剤、
登録番号 24245 : ニマイメ Z 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカゲサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ヒエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			湛水散布又は無人航空機による 散布
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布又は無人航空機による 散布

プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

40. 登録番号 23749 : ゼータタイガージャンボ、
登録番号 23877 : ドラゴンホーク Z ジャンボ、
登録番号 24246 : ニマイメ Z ジャンボ
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカリ エゾノササカゲサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後 3 日～ヒエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

4 1. 登録番号 23753：イネヒーローフロアブル

(ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ クログワイ オモダカ シズイ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ	移植後 5 日～ ¹ / ₂ 葉 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる滴下

ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回以内	2 回以内

4 2. 登録番号 23822 : ホクコーメテオジャンボ
(ペントキサゾン 8.3 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水 稲	一年生雑草 及び マツバ イ ホタルイ	植代後~移植前 7 日 又は 移植直後~ ビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水口施用 又は 水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。	2 回以内

4 3. 登録番号 23837 : イネショット 1 キロ粒剤
(プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバ イ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ シスイ コウキヤガラ	移植直後~ ビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人ヘリコプターに よる散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時散布機 で施用		

4 4. 登録番号 23878：ゼータハンマーフロアブル

(プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日 ～ ¹ / ₂ 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機による滴下	2 回以内	2 回以内
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ¹ / ₂ 葉期 ただし、収 穫 90 日前 まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布 又は無人航空機による滴下	2 回以内	2 回以内

4 5. 登録番号 23879：ゼータハンマージャンボ

(プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日 ～/ビエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2 回以内	2 回以内
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ /ビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日 前まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2 回以内	2 回以内

4 6 . 登録番号 23995 : S D S イザナギフロアブル、
登録番号 23996 : イザナギフロアブル
(トリアファモン 0.94 % ・ ベンゾビシクロン 3.8 % ・ ペントキサゾン 5.7 %水和
剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生 及び 多年生雑草	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後~ヒエ 3.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水散布、水口施用又は無人 航空機による滴下
直播 水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ハラオモダカ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1.5 葉期~ヒエ 3.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで			原液湛水散布 又は無人航空機による滴下

トリアファモンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

47. 登録番号 24228 : ゼータタイガー 300FG、
登録番号 24229 : ドラゴンホーク Z 300FG
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノササグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ノビエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	300 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ノビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	300 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布

プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

48. 登録番号 24336 : SDSイザナギ1キロ粒剤、
登録番号 24337 : イザナギ1キロ粒剤
(トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生及び多年生雑草	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ¹ 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1.5 葉期～ ³ 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

49. 登録番号 24357 : ショキニー1キロ粒剤
(プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ シズイ コウキヤガラ	移植直後～ ¹ 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機による散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時散布機 で施用		

50. 登録番号 24376：トップガンR 1 キロ粒剤

(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ヒエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ヒエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

5 1. 登録番号 24377：トップガンR豆つぶ250

(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ルビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250 g/10 a	1回	湛水散布、湛水周縁散布 または 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ルビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

5 2. 登録番号 24378 : トップガンR ジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ヒエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 マツバ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

5 3. 登録番号 24379 : トップガンRフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ クログワイ オモダカ シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ヒエ3 葉期 但し、移植後 30 日まで			原液湛水散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	稲 1.5 葉期～ヒエ3 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

5 4. 登録番号 24469 : ゼータジャガーフロアブル

(フェンキノトリオン 5.7 %・プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ エゾノサヤスカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ヒエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布または 無人航空機による 滴下
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布または 無人航空機による 滴下

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

5 5. 登録番号 24470 : ゼータジャガー 1 キロ粒剤

(フェンキノトリオン 3.0 %・プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカゲサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ヒエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布または無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布または無人航空機による散布

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

56. 登録番号 24471：ゼータジャガージャンボ

(フェンキノトリオン 15.0 %・プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ エゾノササカゲサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後 3 日～ヒエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200g)/10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(200g)/10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま投げ入れる。

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

57. 登録番号 24477：流星フロアブル

(フェンキノトリオン 6.0 %・ペントキサゾン 5.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草	移植後 3 日～ノビエ 3 葉期ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下
	マツハヰ				
	ホタルイ				
	ウリカワ				
	ミスガヤツリ				
	ハラオモダカ				
	ヒルムシロ				
	セリ				
	オモダカ				
	クロクワイ				
	コウキヤガラ				
直播水稲	一年生雑草	稲 1 葉期～ノビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下
	マツハヰ				
	ホタルイ				
	マツハヰ				
	ミスガヤツリ				
	ヒルムシロ				
	セリ				

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

58. 登録番号 24478：流星 1 キロ粒剤

(フェンキノトリオン 3.0 %・ペントキサゾン 2.5 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ¹ / ₂ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機による散布
直播 水稻	一年生雑草 マツハ ¹ / ₂ イ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ¹ / ₂ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

59. 登録番号 24479：流星ジャンボ

(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ヒエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(400 g)/10 a	1 回	水田に 小包装(パック)の まま投げ入れる
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ヒエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

60. 登録番号 24480：流星エアー粒剤

(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ ¹ / ₂ 葉期 ただし、移植後 30 日まで	400 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ¹ / ₂ 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

61. 登録番号 24610：SDS イザナギジャンボSD、

登録番号 24611：イザナギジャンボSD

(トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ ¹ / ₂ 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。

トリアファモンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

6 2. 登録番号 24612 : SDSイザナギ 200SD粒剤、
登録番号 24613 : イザナギ 200SD粒剤
(トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クリカ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ノビエ 3.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	200 g/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機による散布

トリアファモンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

6 3. 登録番号 24630 : イネヒーローエアー粒剤
(ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ノビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	400 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による散布

ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内	2 回以内

6 4. 登録番号 ー : イネブレイブ 1 キロ粒剤

(ジメタメトリン 0.6 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 0.8 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層剥離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ヒエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで			湛水散布又は 無人航空機による散布

ジメタメトリンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内